

議長記者会見録

日 時 令和7年7月10日（木）13時15分～13時43分

場 所 議会棟 3階 議会運営委員会室

○議会事務局

これより議長記者会見を始めさせていただきます。

本日の進行ですが、まず、徳永前議長から退任のご挨拶がございます。

続きまして、外間議長から新任のご挨拶がございます。

その後、幹事社からの質問、各社からの質問ということで、記者会見の時間は30分程度を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、はじめに徳永前議長から、退任のご挨拶をお願いいたします。

○徳永前議長

このたび、県議会議長を退任しました 徳永達也です。

退任に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

令和5年5月に県議会のご推挙をいただき、議長の要職に就任して以来、本日まで、議長として公正かつ円滑な議会の運営に万全を期すとともに、皆様のご協力をいただきながら、県政の発展にひたすら励んでまいりました。

この2年2か月間をふり返って、所感を述べさせていただきます。

まず、佐賀県議会との連携について、でございます。

九州新幹線西九州ルートを整備推進など、広域的な課題に対応するため、平成22年以来中断していた佐賀県議会との交流会を、佐賀県の大場前議長と協議の上、令和6年3月に佐賀県で再開し、本年1月には本県で開催しました。

この交流会は、両県議会の議員が一堂に会し、両県に共通する諸課題について意見交換することを通して信頼関係を深め、課題の解決に資することを目的としております。

両県には新幹線以外にも多くの共通課題もあり、こうした課題へ一丸となって取り組むためにも、今後もこの交流の機会を継続していくことが重要であると考えております。

次に、高校生や大学生との交流について、でございます。

若い世代の政治への無関心が課題となっておりますが、将来のふるさと長崎県を担う若い世代の皆さんが今、何を考え、どのような問題意識を持っているかを私たち議員が実際に若者と意見交換する中で、感じ取ることや、私たち議員の思いを若い世代に直接伝えることが重要と考え、県議会では大学生や高校生を対象とした意見交換会を実施しております。

私は議長として自ら主権者教育に取り組む姿勢を対外的に示すことが重要だと考え、本県議会と連携協定を締結している長崎県立大学において、令和5年11月、約240名の学生に対して講演を行いました。また、高校生の声を聴くことも重要であると考え、

本年１月に私の出身校でもある島原高校において、多くの生徒に対して講演を行いました。

講演後の意見交換では、大学生・高校生ともに県議会の役割、県議会議員の役割、仕事内容等についての理解が深まったとの感想がありました。

今後も若い世代の皆さんが県政に興味を持ち、参加してもらえるような機運を高めるべく、議員が若い世代と直接交流できる場を設けていくことが重要であると考えております。

次に、「九州各県議会議長会」の会長として、「九州はひとつ」の理念のもと、九州の一体的な浮揚を図るため、「新幹線網や高規格道路の整備促進」などの重要項目に関し、九州各県議会議長とともに、国に対して要望活動を実施してまいりました。

特に、人口減少が著しい離島・へき地を多く抱える九州においては、患者数の減少と医師の高齢化や担い手不足の影響に伴う経営難等により、病院・診療所の倒産や閉院が見込まれ、地域医療に深刻な影響を及ぼす恐れが大きい状況にあることから、九州各県議会の議長の皆様にご賛同をいただき、本年３月１０日、国に対して「持続可能な地域医療提供体制の確保に関する緊急要請行動」を実施させていただいたところでもあります。

また、「財政基盤強化対策県議会議長協議会」の会長としても、「地方税財源の拡充・強化」などに関し、関係県議会の議長とともに、国に対して要望活動を実施し、必要な予算確保に努めてまいりました。

さらに、半島地域の振興に賛同する全国の議長とともに、半島振興法の確実な期限延長と内容の更なる充実について、関係省庁等に対して強く要望を行った結果、本年３月には半島での防災対策を強化する等の内容が盛り込まれた改正半島振興法が成立したところでございます。

今後も九州・沖縄を取り巻く喫緊の課題について、九州各県等と連携を取りながら、国に対して積極的な働きかけが必要であると考えております。

最後に、知事の政治資金に関する問題について、でございます。

県議会では、昨年６月から、本会議、全員協議会、委員会、これは集中審査も含みますが、多くの時間をかけて対応してまいりましたが、いまだ多くの県民の皆様の信頼回復にまで至ってはいないのではないかと感じておりますので、知事におかれましては、引き続き、自らの説明責任を果たされることを強く望みます。

本日、議長の職を辞することになりましたが、これまで円滑な議会運営ができましたことは、大石知事、執行部の皆様をはじめ、議員各位のご指導・ご協力と、報道関係皆様のご理解のおかげでございます。あらためて、厚く感謝申し上げます。

今後は、議長としての経験を生かしながら、引き続き、一議員として、県政の発展と県議会の充実に向けて、尽力してまいります。

外間議長におかれましては、県議会の公正かつ円滑な運営とさらなる活性化を託させ

ていただくとともに、県政の諸課題の解決にご尽力いただきますようお願い申し上げ、甚だ簡単ではございますが、私からの議長退任のご挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

○議会事務局

次に、外間議長から、新任のご挨拶がございます。

○外間議長

本日は、報道各社の皆様にお集まりいただき、誠にありがとうございます。また、今定例会の運営・広報に関して、様々なご協力を賜り、重ねて感謝申し上げます。

このたび、多くの議員のご推挙をいただき、第70代長崎県議会議長に選出いただきました、外間雅広でございます。

議長という大役への就任に当たりまして、誠に身に余る光栄であり、その使命と職責の重さを痛感しているところでございます。

さて、本県では、若者の転出超過による人口減少が続いており、人口減少対策は最重要課題であります。このほかにも、九州新幹線西九州ルートの整備促進、離島・半島振興対策など、多くの課題を抱えております。

私といたしましては、県民の皆様に取り添い、ご意見を真摯に受け止め、県議会が一丸となって、課題解決に取り組んでまいりたいと考えております。

また、県議会では、これまで本会議における電子表決の導入、議会資料のペーパーレス化など、県議会のICT化に取り組んできております。

現在、議会運営小委員会が設置され、政務活動費のさらなる適正な運用と透明性の確保などに関してご議論いただいているところでもありますので、引き続き、時代に即した議会改革の一つひとつ着実に進めてまいりたいと考えております。

さらに、先ほど徳永前議長からもお話がありましたが、本県議会として、若い世代に県議会の役割に関心を持ち、政治を身近に感じてもらうとともに、若い世代が、何を考え、どのような問題意識をもっているのかなどの声を聴く機会の創出と議員の思いを伝える場として、高校生と大学生を対象にした主権者教育に取り組んでおります。

私も議長として自ら主権者教育に取り組む姿勢を対外的に示すことは重要だと考えており、投票率の向上と議員のなり手不足対策のためにも、これらの取組を着実に継続してまいりたいと考えております。

物価高対策をはじめとし、本県の山積する諸課題の解決に対して、県民の皆様が県議会に抱かれる期待は大きなものがあり、県議会の役割は極めて重要であると感じております。

今後とも皆様のご協力を賜りながら、二元代表制の一翼を担う県議会が一丸となって課題解決に向けて、その役割と責務を果たすことが重要であると考えております。

微力ではありますが、これまでに培った経験を十分に生かし、公正かつ円滑な議会運営に精一杯、努めてまいりますので、多くの皆様方のなお一層のご指導・ご支援をお願い申し上げまして、甚だ簡単ではございますが、私からの議長就任の挨拶とさせていただきます。

よろしくお願いいたします。

○議会事務局

ありがとうございました。

これより質問をお受けしたいと存じますが、ご発言いただく際は会社名とともに、新旧どちらの議長にご回答を求められのかお示しいただければと思います。

○読売新聞

徳永前議長にお伺いします。

知事の政治資金の問題について、議会としてこの1年対応してはされましたが、一般質問等における知事に対する追及など、議会としてどのような役割を果たしてきたのか、これまでの対応をどのように評価していच्छるのか。

○徳永前議長

県民から選ばれた知事でありますので、説明責任ということは当然果たさなければならぬと思いますし、議会としましても、この問題について、しっかりと質してきたところです。

この1年の中で、知事の責任説明が県民に対してどこまで果たされたのかということについては、私自身も考えるところがあります。

私自身としても知事に直接申し上げてきましたが、知事の立場がどのようなものかについては知事自身が当然分かっているでしょうし、我々議員は県民の負託を受けた県民の代表であり、その質問は県民からの質問だということも当然分かっているでしょうから、しっかりと説明をしてほしいと再三求めてきました。

一般質問等における知事の説明によって、説明責任がどこまで果たされたのかについては、報道各社の皆様が一番お分かりのことだろうと思いますが、来年は知事選挙が控えていますので、外間新議長の下で、引き続き、しっかりとやっていただきたいと思っています。

○読売新聞

外間新議長にお伺いします。

知事の政治資金の問題について、本日の本会議においても、説明責任を果たしてほしいとの議員の発言もありましたが、議会としてどのように対応してくべきとお考えでし

ようか。

○外間議長

知事自らの責任を明確にするために今回可決された、知事の給料を減額する条例の改正について、3 か月間、給料を50%減額するという、数字で責任の取り方を示され、自民党からの知事に対する三つの申入れのうちの知事が自らに処分を課してけじめをつけることに対する一つの対応であり、自民党の一員としてその対応は了としています。

その他の申入れである、改めて再発防止の取組を示すこと、司法の判断が示され知事自身の責任が問われた場合における自らの身の処し方を明確に打ち出すことについても、引き続き、知事に対して申入れを行っていくとともに、議会としても徳永前議長からの継続ということで、しっかりと対応していきたいと思います。

○西日本新聞

徳永前議長にお伺いします。

議長任期中の一番の実績、成果としてどのようなものがありますか。

○徳永前議長

佐賀県議会と本県議会との交流会の再開は、一つの成果だと思います。両県には新幹線整備を含め多くの共通する課題がありますので、この交流会において、県議会同士の交流の場を設けることにより、共通する課題について意見交換をすることを通じて、佐賀県との関係がより良い方向に発展していくのではないかと思います。

次に、九州各県議会議長会の会長として、九州各県議会の議長の意見を取りまとめ、国に対して「持続可能な地域医療提供体制の確保に関する緊急要請行動」を実施できたことも、非常に良かったと思います。

さらに、主権者教育の取組として、私自身も大学・高校で講演を行いました。全国議長会においても、人口減少や議員のなり手不足等の様々な問題がある中で、主権者教育の推進ということが大きなテーマとなっていますので、私なりに取り組めたのではないかなと思います。

○西日本新聞

徳永前議長にお伺いします。

議長任期中の心残りがありますか。

○徳永前議長

議長任期中にやれることはやってきたと考えていますが、人口減少対策、特に少子化対策については、国への要望の際にも、少子化対策は地方自治体だけでできるものでは

なく、やはり国において主体的にやるべきものだとして強く伝えてきました。国は、地方で子どもや若者の県外流出がなぜ起こるのかを踏まえ、自治体や企業に対する指導・支援について、もっと取り組むべきだと考えています。議長任期中に形にすることは難しいことではありましたが、もう少し取り組みたかったなという気持ちはあります。

○西日本新聞

外間新議長にお伺いします。

議長として、このようなことをやりたいというお考えなどがありますか。

○外間議長

議長になったばかりで、まっさらの状態ではありますが、私は議員としては佐世保選出ということもあり、IR 事業に替わる県全体の振興につながる県北振興の取組があればという気持ちもありますし、徳永前議長が再開された佐賀県議会とのつながりをどのように継続していくか、またフリーゲージトレインの導入断念に伴う国の責任の在り方も含め、新幹線のフル規格整備に向けて、佐賀県に寄り添った徳永前議長の取組をしっかり引き継いでいくことが重要だと思います。

○長崎新聞

徳永前議長にお伺いします。

県政の重要課題である石木ダム事業における知事の取組について、どのように見ておられましたか。

○徳永前議長

知事は反対住民の方々に挨拶に行ったり、話合いの場を設けたりということで、理解を得るための努力はされていると思います。

石木ダム事業は非常に難しい問題だと思います。事業に反対される 13 世帯の方々の気持ちを考えることはもちろん非常に重要なことだと思いますし、事業に賛成し、協力されている方々の気持ちを考えることもやはり重要だと思います。

これは知事だけの問題ということではなく、議会も一緒にやるということが重要だと思います。

○長崎新聞

外間新議長にお伺いします。

石木ダム事業に関するご自身のスタンスと、佐世保市との連携についてどのように考えていらっしゃるのでしょうか。

○外間議長

宮島市長をはじめ佐世保市とは、石木ダムの建設推進に向けて、事業推進の立場として、是非とも連携を図っていきたいと思っています。

渇水・洪水という自然災害から、県民の安全・安心を確保するため、また、利水・治水による県北地域の発展のためにも、石木ダムの早期完成が必要不可欠と考えています。

石木ダム事業の新たな工期である令和14年までの確実な完成に向け、工事工程に沿って着実に事業を進めてもらえるよう、議会としても取り組んでいきたいと考えています。

○議会事務局

他に質問はございませんか。

他に質問がないようですので、以上をもちまして議長記者会見を終了させていただきます。

※ 発言内容については、分かりやすいように一部変更している部分があります。